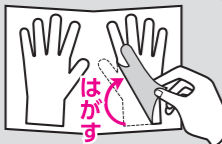




Beautylabo

ビューティラボ パニティカラー

使用説明書・手袋

手袋は裏面に
貼りつけて
あります。

- ご使用の際は必ず最後までよく読んで正しくお使いください。
- ヘアカラーはまれに重いアレルギー反応をおこすことがあります。
- ご使用の際は毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。
- 今までにヘアカラーでかぶれたことのある方は、絶対に使用しないでください。

?

本品に限らず、ヘアカラーで
かぶれの症状が
でたことはありますか?

YES

絶対にヘアカラーを
しないでください

かぶれの典型的な症状

- ① 染毛の半日後くらいからかゆみを感じ、はれ・赤み・ブツブツ等が出始め、染毛の48時間後に最もひどくなる。
- ② 使用のたびにかゆみを感じる。

かぶれの症状が軽かった場合も、
繰り返し使用すると
次第に症状が重くなり、まれに
重いアレルギー反応*が
突然起こることがあります。
(* 全身じんま疹、呼吸困難等)

NO

毎回必ず
皮膚アレルギー試験
(パッチテスト)をしてくださいこの面の「皮膚アレルギー試験の
手順」をよく読んでください。

ヘアカラーによるアレルギーのリスクについて

ヘアカラーによる「かぶれ」は、頭・髪の生え際・顔・首筋等にかゆみ・はれ・赤み・ブツブツ等の症状がでることをいい、かゆみしか感じないこともあります。かぶれと気づかずに、又はかぶれの症状が軽いため使用を繰り返したり、症状が治まった後に再使用したりすると、次第に症状が重くなり、まれに「アナフィラキシー」という重いアレルギー反応(全身じんま疹、呼吸困難など)等が突然起こることがあり危険です。このようなかぶれの症状を経験された方は、絶対に使用しないでください。

⚠ 使用上のご注意

1 次の方は使用しないでください。

- ① 今までに本品に限らずヘアカラーでかぶれたことのある方
- ② 染毛中または直後に、じんま疹(かゆみ、発疹、発赤)あるいは気分の悪さ(息苦しさ、めまい等)を経験したことのある方
- ③ 皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の結果、皮膚に異常を感じた方
- ④ 頭皮あるいは皮膚が過敏な状態になっている方(病中、病後の回復期、生理時、妊娠中等)
- ⑤ 頭、顔、首筋に、はれもの、傷、皮膚病がある方
- ⑥ 腎臓病、血液疾患等の既往症がある方
- ⑦ 体調不良の症状が持続する方(微熱、けん怠感、動悸、息切れ、紫斑、出血しやすい、月経等の出血が止まりにくい等)

2 使用前のご注意

- ① 染毛の2日前(48時間前)には、右記の手順に従って毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。パッチテストは、ヘアカラーにかぶれる体質であるかどうかを調べるテストです。テスト部位の観察はテスト薬剤塗布後30分くらいおよび48時間後の2回行います。過去に何回も異常なく染毛していた方でも、体質の変化によりかぶれるようになる場合もありますので、毎回必ず行ってください。
- ② 頭髮以外には使用しないでください。本品は頭髮用の製品です。
- ③ 眉毛、まつ毛に使用しないでください。薬剤が目に入るおそれがあります。
- ④ 顔そり直後は染毛しないでください。皮膚が細かく傷ついているおそれがあり、刺激等を受けやすくなります。
- ⑤ 染毛の前夜1週間はパーマントウェーブをかけないでください。髪をいためたり、色落ちしたりすることがあります。

3 使用時のご注意

- ① 薬剤は使用直前に混合し、ただちに使用してください。
- ② 換気の良い所で使用してください。
- ③ 必ず添付の手袋を着用してください。
- ④ 染毛中に入浴したり、染める前に髪をぬらしたりしないでください。汗やしずく等で薬剤が目に入るおそれがあります。
- ⑤ 薬剤が顔、首筋等につかないようにしてください。薬剤がついたときは、ただちに水で洗い落としてください。

- ⑥ 薬剤や洗髪時の洗いが目に入らないようにしてください。目に入ると激しい痛みを生じたり、場合によっては目が損傷(角膜の炎症等)を受けたりすることがあります。万一、目に入ったときは絶対にこすらないで、ただちに水またはぬるま湯で15分以上よく洗い流し、すぐに眼科医の診療を受けてください。
- ⑦ 染毛中に発疹、発赤、はれ、かゆみ、強い刺激等の皮膚の異常やじんま疹、息苦しさ、めまい等の症状が現れた場合には、ただちに薬剤をよく洗い流し、すぐに医師の診療を受けてください。
- ⑧ 染毛後に何らかの異常を感じた場合には、必ず医師の診療を受けてください。

4 取り扱い上のご注意

- ① 混合した薬剤の残りは効果がなくなります。必ず洗い流して捨ててください。
- ② 混合した薬剤は保存しないでください。ガスが発生して容器が破裂するおそれがあります。

5 保管上のご注意

- ① 幼児の手の届かない所に保管してください。誤って飲んだり食べたりすると危険です。
- ② 高温や直射日光を避けて保管してください。

他に守っていただきたいこと

- ① 幼児には使用しないでください。
- ② 公衆浴場等での使用は、汚れ等で周囲の人の迷惑になりますので、ご遠慮ください。
- ③ 薬剤が衣服、床、じゅうたん、壁、洗面台、鏡等に付着すると色が落ちませんので、充分ご注意ください。
- ④ パーマントウェーブをかけた髪にヘアカラーをすると、ウェーブが緩むことがありますのでご注意ください。

使用前に知っておいていただきたいこと

- ① 使用前に必ずご自分の髪色と仕上がりがイメージを箱の裏側でご確認ください。
- ② ヘアカラーやヘアマニキュアで暗く染めた髪を明るくすることは困難です。
- ③ ヘアマニキュア等で染めている髪は、色合いが変わったりムラになることがあります。

より詳しい情報はこちら

- ヘアカラーによるかぶれの情報

ホーユー パッチテスト

検索

www.hoyu.co.jp/startup/patch_test.html



商品に関するお問い合わせ・ご相談はこちら

お客様相談室

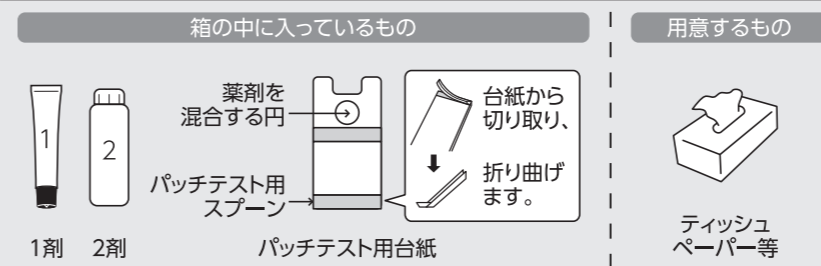
0120-416-229

土・日・祝日及び弊社休業日を除く
午前9時～午後5時

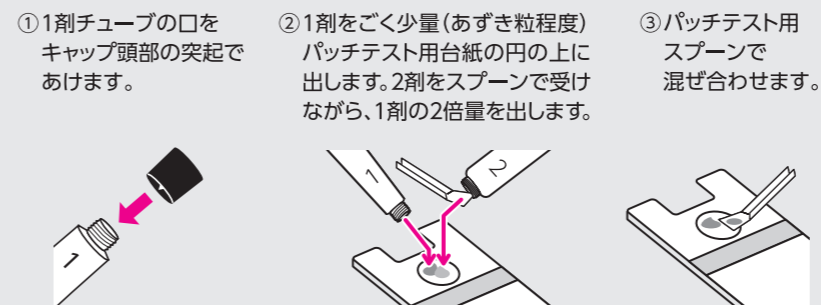
皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の手順

毎回必ず、染める2日前(48時間前)にパッチテストを行ってください。

1 次のものを準備します



2 パッチテスト用の混合乳液をつくります



3 腕の内側にぬって48時間放置します

- ① 混合乳液ができたら、パッチテスト用スプーンで腕の内側に10円硬貨大にうすくぬります。
- ② 自然に乾燥させ、そのまま触れずに48時間放置します。
※時間を必ず守ってください。

10円
硬貨大

- ぬった部分が30分くらいしても乾かない場合は、ティッシュペーパー等で軽くふき取ってください。
- 混合乳液をぬった所は絆創膏等で覆わないでください。
- パッチテスト中は、入浴やシャワーをひかえてください。正確な結果を得るためには、48時間のパッチテスト中に、テスト部位をぬらしたり、こすったり、シールを貼ったりしないことが必要です。やむを得ずシャワー等する場合は、テスト部位をぬらさないようにご注意ください。

4 30分後と48時間後の2回、テスト部位を観察します

塗布部に発疹、発赤、かゆみ、水疱、刺激等、皮膚の異常があった場合には、手等でこすらないでただちに洗い落とし、ヘアカラーはしないでください。途中、48時間以前であっても、同様の皮膚の異常を感じた場合には、ただちにテストを中止し、混合乳液を洗い落としてヘアカラーはしないでください。

5 48時間経過後、異常がなければヘアカラーをしてください

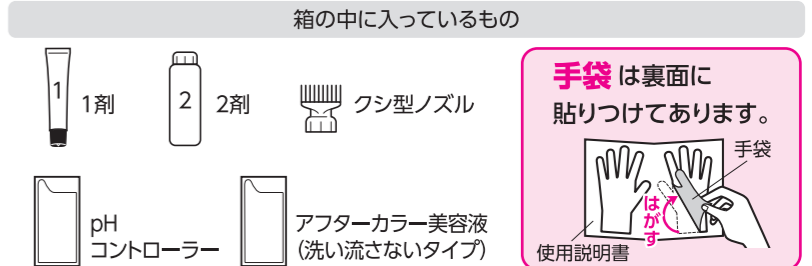
- ※パッチテストの結果、万一異常があった場合は皮膚科医の診療を受けてください。また、製品についてはお客様相談室までご連絡ください。
- ※パッチテストの汚れが残っても、通常の入浴によって、自然に落ちていきます。

ご使用前の準備

⚠ 注意

- 寒い所では染まりにくいので、室温が20～30℃の場所でお使いください。
 - 乾いた髪に使用し、染毛中に入浴は避けてください。
 - シャンプーは、なるべく染める前日までに済ませてください。髪の汚れがひどいとき、整髪料を多めに使用しているとき、一時着色料や金属粉等が髪についているときは、十分に洗い流してください。
- 【やむをえず、染める当日にシャンプーする場合】
- 地肌を傷つけないように、ていねいに洗ってください。
 - 髪をよく乾かしてください。髪がぬれていると、混合乳液がたれて目に入ったり、染まりが悪くなる場合があります。

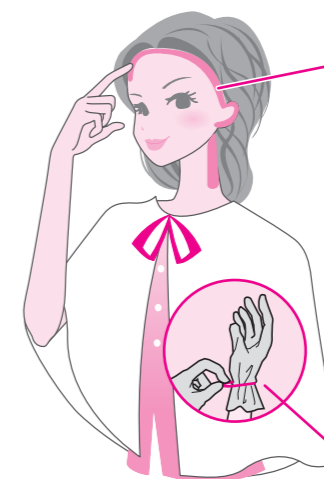
1 必要なものをそろえます

手袋は裏面に
貼りつけてあります。
手袋
使用説明書

- 用いるもの
- 化粧ケープかタオル
 - ティッシュペーパー等
 - 輪ゴム2本(手袋用)
 - 水をはじく油性クリーム
 - 汚れてもかまわないタオル
 - 鏡
 - 新聞紙等の敷物
 - シャンプーとコンディショナー等
 - 時計
 - ヘアゴムまたはヘアクリップ(プラスチック製のもの)
 - グシ(なるべく目のあらいものを用意、金属製のものは避けてください)

2 汚れ対策をしてください

- ① 汚れてもかまわない前あきの衣服を着てください。
- ② 化粧ケープかタオルで衣服をガードします。
- ③ 水をはじく油性クリームを、生え際、耳のまわり、えりあしにぬります。混合乳液が皮膚についても落としたりやすくなります。
※ただし、油性クリームが髪につくと染毛効果が弱くなりますので、ご注意ください。
- ④ メガネ、コンタクトレンズやアクセサリー等は、はずしてください。
- ⑤ 新聞紙等を、床や洗面台等に敷いてください。
※特に、衣服、たみ、じゅうたん、壁、家具等に混合乳液がつくと色が落ちませんので、ご注意ください。
- ⑥ 必ず手袋をはめて、はずれないように輪ゴムでとめます。



hoyu ホーユー株式会社

〒461-8650 名古屋市中区徳川一丁目501

ビューティラボ

www.beautylabo.jp

検索

ご使用前に必ず表面をお読みください。

ご使用の手順

すぐ分かる！使い方動画
www.beautylabo.jp



- 注意**
- 混合乳液が目に入らないようご注意ください。
 - 染める2日前(48時間前)に毎回必ず、皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。
 - 寒い所では染まりにくいので、室温が20~30℃の場所でお使いください。

使用量の目安

セミロングヘア(肩につく程度)約1回分

※髪の量が多い方は2箱をご用意ください。
※使用量が少ないとキレイに染まりません。

時間の目安

ぬる時間 **15分*** + 放置時間 **15分**

※早くぬり終えた方は、放置時間を含めて、**合計30分**になるように調整してください。

この面に手袋が貼ってあります。

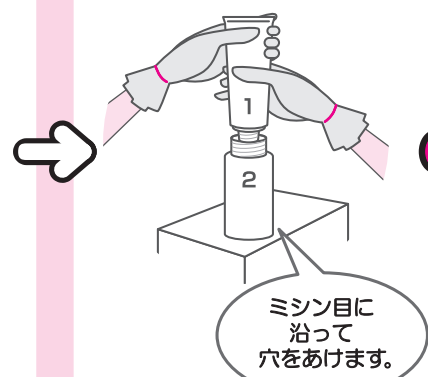


1 混合乳液をつくります。

はじめに髪をまとめます。
ヘアゴムやヘアクリップで髪をかるくまとめます。ぬりやすくなって、ぬりムラも防げます。

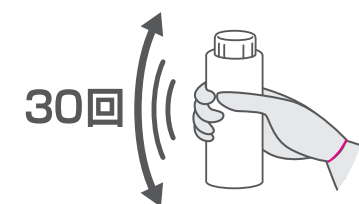


1 2剤を箱に固定し、1剤を全量加えます。



ミシン目に沿って穴をあけます。

2 白キャップをしっかりしめて、上下に30回ほど強く振ります。



注意 クシ型ノズルをつけないでください。
振ったときに混合乳液が飛び散ります。

3 白キャップをすぐにはずし、クシ型ノズルをしっかりつけます。



液の出具合を確かめてからぬり始めます。

- 注意**
- 混合乳液をつくったらすぐにぬり始め、途中で中断しないでください。また、必ず30分以内にぬり終わってください。時間がたつと徐々に染毛効果が弱くなります。
 - 白キャップをしたまま放置しないでください。ガスが発生して容器が破裂したり、混合乳液があふれるおそれがあります。
 - クシ型ノズルは必ず下向きにしてご使用ください。ノズルが横、上を向いていると液が出にくくなったり、飛び散りにつかります。

〈薬剤の色について〉

- 1剤の色が部分的に茶色や黒色になっていることがありますが、仕上がりに影響ありません。
- 混合乳液の色は徐々に変わり、仕上がりの色とは異なります。

2 乾いた髪に、混合乳液をたっぷりぬります。

- 注意**
- 混合乳液を出し過ぎるとたれますので、ご注意ください。
 - ぬるときに、混合乳液の飛び散りにご注意ください。
 - クシ型ノズルで地肌や髪をいためないようにしてください。
 - 混合乳液がなるべく地肌につかないようにしてください。
 - 混合乳液が肌についたときは、水でしめらせたティッシュペーパー等ですぐにふき取ってください。

ぬる時間 **15分**

1 クシ型ノズルで髪全体にぬります。

※初めて染める方も、新しく伸びた部分を染める方も、同じ使い方です。

えりあし

髪を持ち上げて下から上へぬり、指先でなじませます。



耳の後ろ・後頭部

根元から毛先にかけてぬります。



Point

ぬりにくい部分は、液を指に取ってぬります。

トップ・サイド

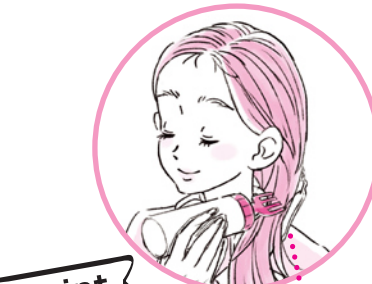
前髪 生え際

ノズルのクシ部でかき分けながらぬります。



Point

明るくなりやすい生え際、前髪の根元部分は、液のつけすぎにご注意ください。



Point

毛先にぬるときは、液がたれないよう手を添え、もみ込むようにしてください。

2 髪全体になじませます。

ムラなくぬるために…

- ぬり残しをチェックします。
- クシや手で毛先までとがすように、なじませます。



ぬり残しやすい部分

後頭部
サイド
耳の後ろ

注意 混合乳液を頭皮にすり込まないようにしてください。

3 放置します。

15分

- 細い・軟らかい・明るい髪の方は、5分ほど短く放置。
- 太い・硬い・黒い髪の方は、5分ほど長く放置。
- あまり長く放置すぎると、髪が希望の色にならなかったり、髪や地肌をいためることがありますので、おやめください。



注意 残った混合乳液は必ずすぐに洗い流してください。放置しておくと、ガスが発生して容器が破裂したり、混合乳液があふれるおそれがあります。

4 混合乳液を洗い流し、2種美容液で仕上げます。

1 ぬるま湯でよくすすいだあと、シャンプーを2回し、軽く水気を切ります。

※ヘアカラーの色が出なくなるまで、充分すすいでください。

- 注意**
- すすぎ湯が目に入らないようご注意ください。
 - すすぎ湯が壁や浴槽等につくと汚れが取れない場合がありますので、充分ご注意ください。

2 pHコントローラーを使います。

- 添付のpHコントローラーを2、3回に分けて手に取り、髪全体にもみ込みます。
- 3~5分ほど放置したあと、洗い流します。

注意 液がゆるくこぼれやすいため、開封時や手に取る際はご注意ください。

ヘアカラー直後の髪のpHをコントロールし、コンディションを整えます。



3 コンディショナーなどをして、洗い流します。

- 汚れてもかまわないタオルで水気をよくふき取ります。

注意 すすぎ・シャンプーを充分にしてよく乾かしていないと、髪が衣類、帽子、枕カバー等に触れたとき、色移りすることがあります。

4 アフターカラー美容液で仕上げ、よく乾かします。

- 添付のアフターカラー美容液を少量ずつ手に取り、髪全体になじませます。
- ※洗い流す必要はありません。

髪のパサつきを抑え、指通りなめらかに仕上げます。



使用後のご注意

- 次のような場合は、衣類、帽子、枕カバー等に色移りすることがありますので、ご注意ください。
 - 髪がぬれているとき(運動等で汗をかいたとき、雨にぬれたとき、洗髪後等)。
 - 育毛剤、ヘアリキッド、ヘアフォーム等の頭髪用品を多量に使用したとき。
- 再度ヘアカラー(ヘアマニキュアを除く)を使用する場合は、髪や地肌への負担を考え、1週間くらいの間隔をおいてください。

↑ 手袋はここからはがしてください。↑

↑ 手袋はここからはがしてください。↑